

講義とグループディスカッションで学ぶ

これだけは知っておきたい！

2025年度版

参加費無料

障害のある患者さんの来院時に 医療機関に求められること ～がん検診に焦点をあてて～

障害のある（がん）患者さんに対応するにあたって、がん検診などの場面で配慮すべきこと、容易にできる対応法を座学+グループディスカッション形式で学ぶ研修です。知識だけでなく、障害のある当事者や身近な支援者、家族の立場からのニーズなどを理解できる機会です。



2026年3月4日（水曜） 16:00～18:00

開催方法：オンライン（zoom） 定員 80名

- 参加者：①がん検診機関の職員（医療職、行政職、事務員など）
 ②全国のがん相談支援センター相談員・病院職員など
 ③障害者支援にかかわる福祉関係者
 ④障害のある当事者・障害のある方のご家族

手話通訳・文字通訳あり

※グループディスカッションの場合、必要なグループのみ手話通訳もしくは文字通訳がつきます。

※必要な配慮は参加申し込みフォームにて申し出ください。

はじめに・ワークショップの趣旨 プログラム

八巻知香子（国立がん研究センターがん対策研究所）

医療現場における合理的配慮とは

原田敦史（堺市立健康福祉プラザ 視覚・聴覚障害者センター）

国が奨励するがん検診にどんな課題があるのか？ 健診機関はどんな準備をすべきなのか？

中山富雄（国立がん研究センターがん対策研究所）

障害者当事者の立場から

佐藤聡（日本障害フォーラム 事務局）

参加申し込み時の事前アンケートに寄せられた 困りごと 八巻知香子

グループディスカッション

障害のある当事者（ご家族）・医療関係者・福祉関係者でディスカッション

全体共有

※研修当日はカメラオフ・マイクオフでご参加ください。グループディスカッションではカメラオンにしてください。プライバシーが守られる静かな場所と、安定したネットワーク環境でご参加ください。

快適にご参加いただくために、パソコンからのご視聴をお勧めいたします。

※zoom操作やネット接続などに関するお問い合わせには対応いたしかねますので、あらかじめご了承ください。

参加申し込み先

下のQRコードからお申し込みください。
申込締切：～2月28日



医療機関の方



障害当事者・福祉分野の方

【シリーズ】医療従事者のためのサポートガイド



サポートガイドの冊子をご希望の際は下記のページよりお申し込みください。

<https://wksp.net/ncc/pamph/>



厚生労働科学研究費補助金「がん罹患前より障害があるがん患者に対する医療機関における適切な医療・支援の実装に資する研究」（23EA1030）

本研修についての問い合わせ先
（株式会社コンベンションプラス 研修会参加受付係）

TEL 03-4355-1139

Email

ncc-reg@convention-plus.com

受付時間 10時00分から18時00分
（平日）